

# 共同受注窓口を通じた工賃向上モデルの構築（福岡県）

## 【現 状】

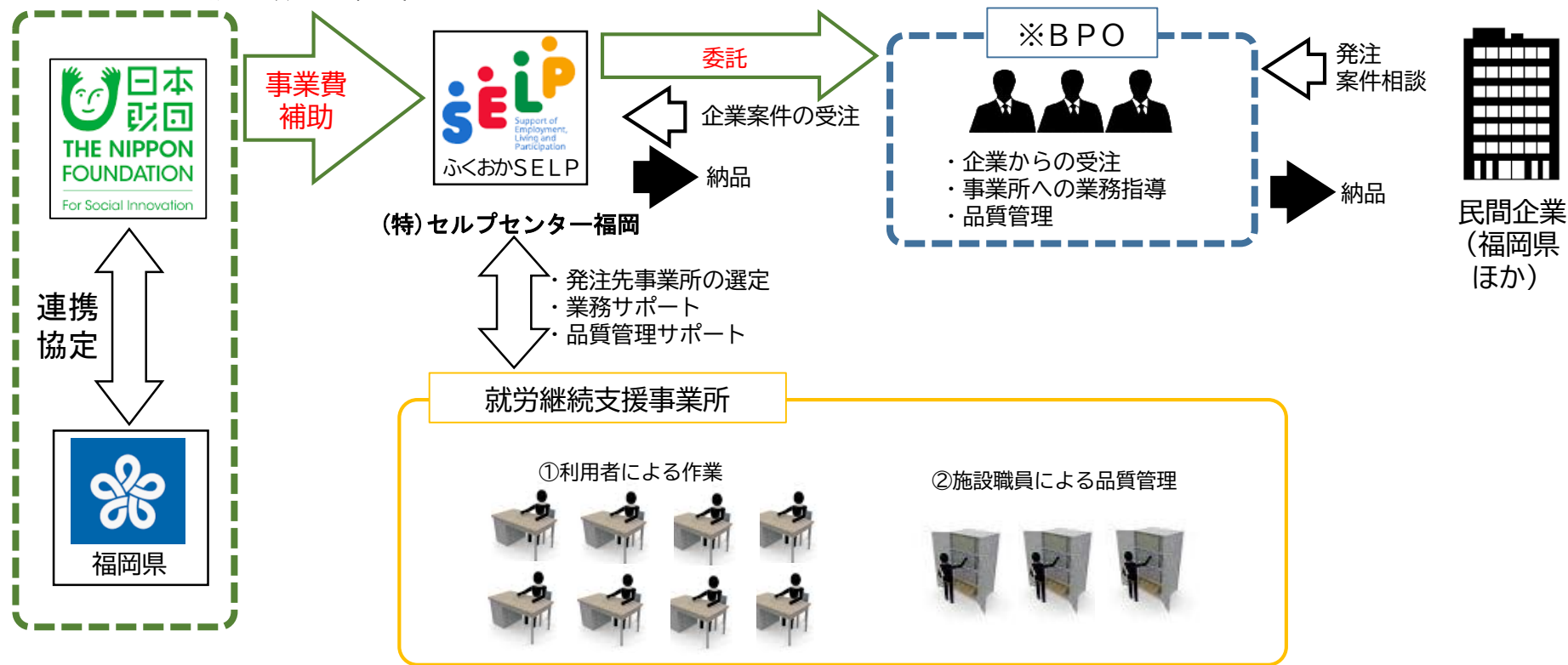
福岡県内の平均工賃月額、過去5年間（2015年～2019年）で約5%程度向上しているものの、全国平均を毎年下回る状況が継続しており、全国的な推移と比較すると伸び悩んでいる。就労継続支援B型の平均工賃は全国で2018年度：41位、2019年度：45位となっている。

## 【事業概要】

県内唯一の共同受注窓口である「(特)セルプセンター福岡」を通じた、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）による民需拡大のモデルを構築し、県内で普及させることで、年間を通じて安定的に作業を供給し、高工賃を達成可能とする仕組み作りを行う。今回は取り組みに参加する30事業所（B型）を対象として就労継続支援B型の県平均工賃月額（14,218円）の概ね倍増となる31,312円を目標とする。

事業費総額：24,950,000円

助成金額：19,960,000円



※BPO導入の目的は、民需拡大のための営業業務等を同社に委託し、専門企業のノウハウを活用して、新規販路の拡大、業務の効率化等を図り、同社が獲得した受注を共同受注窓口を介して、県内就労継続支援事業所に配分することで、生産活動収入を増加させる。